

国の出先機関改革に係る公開討議  
説明資料

漁業調整事務所

平成22年5月24日

農林水産省

## 目 次

漁業調整事務所の概要	1
漁業調整事務所について	3
全国の主な漁業調整問題	4

# 漁業調整事務所の概要

## 1 漁業調整事務所の役割

- 漁業調整事務所は、全国6か所に設置

北海道漁業調整事務所、仙台漁業調整事務所、新潟漁業調整事務所、境港漁業調整事務所  
瀬戸内海漁業調整事務所、九州漁業調整事務所

- 具体的には、以下の事務を主に実施。

- ① 漁業の許可等
- ② 漁業の取締り
- ③ 漁業調整
- ④ 広域的な資源回復計画の策定・管理
- ⑤ 外国漁船の寄港の許可

- 近年、外国漁船による違法操業の広域化、悪質・巧妙化に伴い、漁業取締り体制を強化するため、取締り事務へ人員を集中させているところ。

## 2 機構・定員

- 機構： 総務課、資源課、漁業監督課等から構成  
※漁業調整事務所により設置される課名は異なることがある。
- 定員： 平成22年4月現在 176名

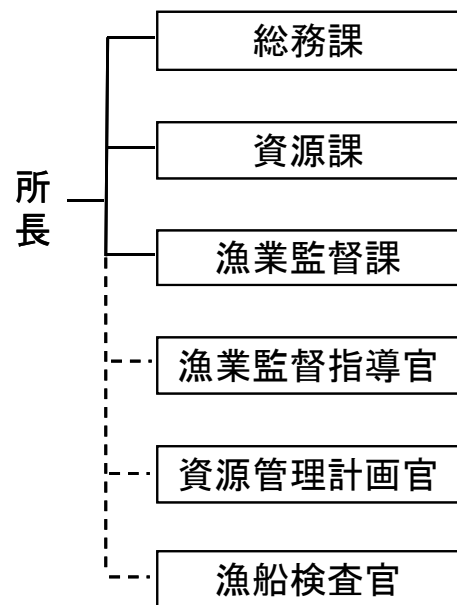
## 3 設置等の経緯

昭和27年8月 水産駐在所を母体に、漁業調整事務所(北海道、仙台、新潟、香住、福岡)と漁業調整事務局(瀬戸内海、有明海)を設置

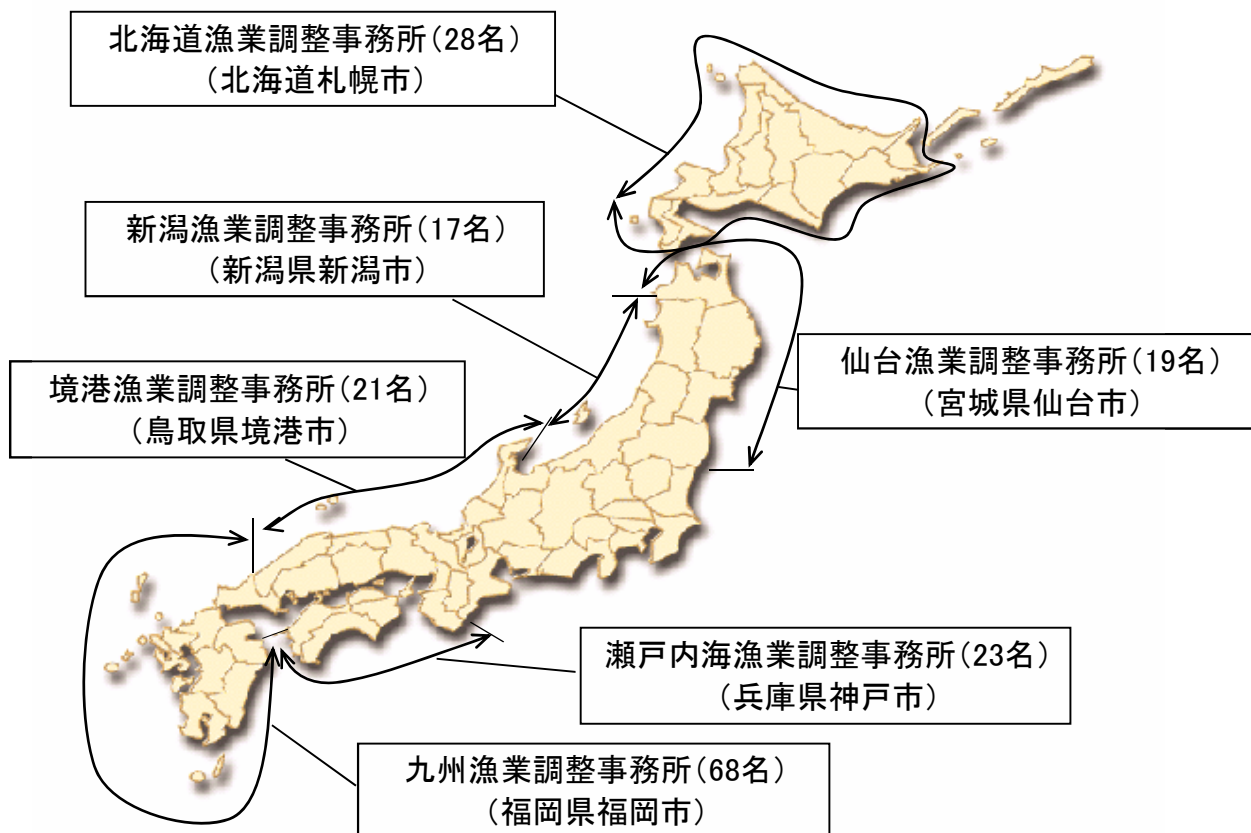
昭和53年7月 有明海漁業調整事務局を廃止。福岡漁業調整事務所到有明海漁業調整事務局の業務を追加し、九州漁業調整事務所と改称。  
瀬戸内海漁業調整事務局を瀬戸内海漁業調整事務所に改称。

平成9年10月 香住漁業調整事務所を境港漁業調整事務所に改称。

○漁業調整事務所機構図(平成22年4月現在)



○漁業調整事務所の管轄区域



<参考> 漁業調整事務所の管轄区域

北海道漁業調整事務所: 北海道の地先海面  
 仙台漁業調整事務所: 青森県、岩手県、宮城県、福島県の地先海面  
 新潟漁業調整事務所: 秋田県、山形県、新潟県、富山県の地先海面  
 境港漁業調整事務所: 石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県の地先海面(瀬戸内海の海面を除く。)  
 瀬戸内海漁業調整事務所: 瀬戸内海の海面並びに和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県の地先海面  
 九州漁業調整事務所: 山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の地先海面(瀬戸内海の海面を除く。)

# 漁業調整事務所について

## 漁業調整事務所の主な事務

### ☆漁業の許可等

〔都道府県域を越えて広範囲にわたり操業する大臣許可漁業に対する漁業の許可等〕

### ☆漁業の取締り

〔大臣許可漁業や外国漁船に対する指導・取締り〕

### ☆漁業調整

〔漁場等を巡る漁業者間の紛争について協議の斡旋等（漁業調整問題の具体例）〕

- ・愛知県渥美外海におけるサヨリ船曳網漁業に係る調整問題（愛知県、三重県）
- ・紀伊水道における中型まき網漁業と沿岸漁業の調整問題（和歌山県、徳島県）
- ・唐津湾におけるカタクチイワシまき網漁業に係る調整問題（福岡県、佐賀県）

### ☆広域的な資源回復計画の策定・管理

〔県域を超えて分布している魚種について、関係都道府県や漁業者と調整の上、資源回復計画を策定・実施〕

### ☆外国漁船の寄港の許可

〔外国漁船が我が国の港湾を操業の根拠地として利用することを規制するため外国漁船の寄港の適否を判断〕

## 国の責務

国民への水産物の安定供給を図るためには、水産資源の適切な保存及び管理により、資源の持続的な利用を図ることが必要。

## 漁業の特色

- 多くの水産資源が都道府県域を越えて分布・回遊するほか、多種多様な漁業者が同一の資源を漁獲すること。
- 国際的な取り決めに基づいて規制を行っている漁業もあること。

## 漁業調整事務所の必要性

- 漁業調整事務所の事務については国が中立・公平かつ広域的な観点から統一的に事務を実施することが必要。
- 機動的な漁業取締りや円滑な漁業調整を行うためには、漁業調整事務所による事務の実施が必要。

## 全国の主な漁業調整問題

### ① 北海道沖の沖合底びき網漁業(操業水域は北海道～ロシア水域)問題

→四者協議(沿岸漁業者、沖底業者、道庁及び水産庁)による関係者間の取組の協議  
→小型魚保護に配慮した操業等

### ② 道南沖の大中型まき網漁業(操業海域は千葉沖～北海道沖、③～⑤も同様)問題

→操業自粛海域の設定

### ⑦ 日本海大中型まき網漁業(操業水域は秋田沖～福岡沖)によるブリ漁獲問題

→まき網は、水揚げ集中回避に留意して操業

### ③ 青森県(八戸、尻屋)沖の大中型まき網、沖合底びき網漁業問題

→操業自粛海域の設定、するめいか上限漁獲量の設定

### ⑧ 対馬周辺や山口県見島大中型まき網漁業(操業水域は山口沖～東シナ海)問題

→ヨコワの自主規制等

### ④ 宮城県沖の大中型まき網漁業問題

→まき網は、沿岸漁場での操業を自粛

### ⑨ 唐津湾におけるカタクチイワシまき網漁業に係る調整問題(福岡県、佐賀県)

→操業区域について両県漁業者間で合意が成立

### ⑤ 利根川尻の大中型まき網漁業問題

→さばの混獲を防止

### ⑩ 紀伊水道における中型まき網漁業と沿岸漁業の調整問題(和歌山県、徳島県)

→操業区域について両県漁業者間で合意が成立

### ⑥ 愛知県と三重県のサヨリ船曳網漁業問題

→両県漁業者間の操業区域等に関する協議を水産庁が仲介

### ⑪ 沖縄県沖パヤオ(浮魚礁)をめぐるかつお釣り漁業(宮崎、高知、静岡県籍等)問題

→パヤオ周辺でのかつお釣り船の操業自粛

